

参考資料

1. 平成31年第5回経済財政諮問会議（平成31年4月10日）
<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/>
2. 独立行政法人福祉医療機構、経営分析参考指標「2020年度決算—病院の概要—」<https://www.wam.go.jp>
3. 前田泰伸、地域の労働生産性と地域活性化の在り方、経済のプリズムNo172, 37-59、20218
4. 公益財団法人日本生産性本部「労働生産性の国際比較2021」<https://www.jpc-net.jp/research/list/comparison.html>
5. 厚生労働省、医療の質の評価・公表について<https://www.mhlw.go.jp/content/10801000/000462044.pdf>
6. 医療機関における生産性向上への取組に関する実態調査報告書、アビームコンサルティング株式会社、https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/iryoku/downloadfiles/pdf/seisan_koujou.pdf
7. 佐野 哲、「働き方改革」から考える病院の労働生産性、病院80:5:386-389、2021
8. 森川正之：病院の生産性—地域パネルデータによる分析—<https://www.rieti.go.jp/jp/publications/dp/10j041.pdf>
9. 第6回 医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会（令和2年2月19日）https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_07275.html
10. 平成28年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成28年度調査）の報告案について（平成29年2月22日）、中央社会保険医療協議会診療報酬改定結果検証部会、<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12404000-Hokenkyoku-Iryouka/0000152477.pdf>

医の倫理綱領

日本医師会

医学および医療は、病める人の治療はもとより、人びとの健康の維持増進、さらには治療困難な人を支える医療、苦痛を和らげる緩和医療をも包含する。医師は責任の重大性を認識し、人類愛を基にすべての人に奉仕するものである。

1. 医師は生涯学習の精神を保ち、つねに医学の知識と技術の習得に努めるとともに、その進歩・発展に尽くす。
2. 医師は自らの職業の尊厳と責任を自覚し、教養を深め、人格を高めるように心掛ける。
3. 医師は医療を受ける人びとの人格を尊重し、やさしい心で接するとともに、医療内容についてよく説明し、信頼を得るように努める。
4. 医師は互いに尊敬し、医療関係者と協力して医療に尽くす。
5. 医師は医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展に尽くすとともに、法規範の遵守および法秩序の形成に努める。
6. 医師は医業にあたって営利を目的としない。